



伊場 哲也 議員



市政運営全般について

問 市長が掲げた六つのまちづくり方針とライフステージごとの支援の充実について、職員に何を指示し、どう取り組み、どんな成果があったと自負しているか伺う。

答 組織横断的な協議や委員会設置等を通じ、施策は概ね順調に進捗。コロナ対策として接種体制充実や経済回復、物価高対策を実施。市民との対話や子育て支援、防災力強化にも注力。移住・定住促進、生涯活躍のまちづくり、広域連携を推進。SDGs視点の総合戦略や学校再編、若者支援を展開中。令和7年度からの給食費完全無償化に向けて、定例会にて審議依頼中。

問 副市長の立場として、旭市のさらなる発展に向け、課題と課題解決のポイントをどう捉えているか伺う。

答 公共施設の再編推進とDXの推進の2点がポイント。

公共施設の老朽化対応、財政負担を踏まえ、適切に進めることが重要課題。総合管理計画等に基づく対応を継続。市のDXは遅れていると認識しており、市民サービス向上と業務効率化が課題。来年度にはDX推進計画を策定予定。

問 教育長の立場として旭市の現在の教育課題と令和7年度に特に取り組みたい教育内容について伺う。

答 知・徳・体のバランスのとれた力「生きる力」の育成と学力向上を重視。子どもたちの夢を育み、実現に向かって努力し続ける人材の育成を目指す。児童・生徒数の減少する中で学校再編を地域と連携して進め、よりよい教育環境づくりについて検討する。中学校部活動の地域移行を進め、地域の中で部活動に主体的に取り組める環境づくりを目指す。教員のなり手不足に対応し、教職の魅力発信に努める。

問 令和7年度予算の特色ある予算措置と持続可能性ある中長期的な財政計画を伺う。

答 給食費完全無償化や小児科誘致支援など子育て支援の関連を計上。市民ニーズを捉えながら自主財源確保を図り、持続可能な財政運営に努める。

学校のプール設備と水泳授業について

問 小学校のプール設備の老朽化が進み、既に使用できない学校もあるとのことだが、現在の使用状況と、今後はプールをどのようにしていく考えか。

答 小学校15校のうち11校が自校のプールを使用し、4校は近隣の学校プールを使用している。プールの維持には多額の費用がかかるため、学校再編のタイミングを考慮しながら、隣接校のプールや民間施設の活用について検討していきたい。

問 水泳授業において、ライフジャケットを活用した水辺の安全教育を実施することは考えられないか。

答 水辺の安全教育については、現在、落水時の対処方法として着衣泳の指導を行っている。ライフジャケットを活用した授業は行っていないが、今後、民間プールの活用を進める中で協議していきたい。

学校給食の質の担保について

問 食料費の価格高騰による学校給食への影響と、その対応について伺う。

答 賄材料費は年々増加しており、一般財源からの補填や給食費の見直しなどで対応している。栄養価を維持しながら、手作りメニューへの変更など工夫し、給食の質の確保に努めている。

問 本市学校給食は昨年全国学校給食甲子園で優秀賞を受賞。このような取り組みをさらにPRするために、おひさまテラスのカフェスペースで学校給食メニューを提供するのはどうか。

※全国学校給食甲子園：解説は16ページ。

答 おひさまテラスのカフェスペースは、現在、指定管理者が事業者の誘致を進めており、新たな事業者が決定した際に、学校給食のレシピを活用したメニューを提供できるか尋ねることは可能と考える。みらいあさひでは教育委員会の協力を得て、学校給食をテーマにした食育の催しを開催すると伺っている。

その他の質問事項

- 学校のアンケート調査について
- 不登校支援について
- 子どもの意見表明権について



崎山 華英 議員

